

ちくごがわ やまそたにがわ  
筑後川水系 山曾谷川

(河川改修事業)

1. 事業概要

1) 流域の概要

筑後川水系山曾谷川は、耳納連山に源を発し、うきは市を南北方向に貫流して巨瀬川に注ぐ、幹川流路延長2.1km、流域面積2.34km<sup>2</sup>の一級河川である。

流域の土地利用状況については、下流部は宅地、中流部は主に果樹園、上流部は山地で構成されている。また、流域内の一部は「筑後川県立自然公園」として整備されている。

2) 事業の必要性

山曾谷川の浸水被害については、近年の令和元年8月洪水、令和2年7月洪水、令和3年8月洪水、令和4年8月洪水等により、宅地部における浸水被害が発生している。このため、浸水被害の軽減を図り、計画的に事業を実施する必要がある。

3) 事業により期待される効果

計画規模(W=1/5)の降雨に対し、浸水被害の解消を図る。

2. 河川の現況

治水安全度：1/2 未満

公共施設：国道210号、JR久大本線

災害履歴：平成24年7月、令和元年8月、令和2年7月、令和3年8月、令和4年8月

3. 計画内容

整備延長：L=1.4km (巨瀬川合流部～1k400)

計画規模：1/5

計画流量：12m<sup>3</sup>/s (西下榎木町線橋梁1k400地点)

整備内容：堤防嵩上げ、河道拡幅、調節池整備、橋梁架替

事業費：約2,010百万円

整備期間：令和5年度～令和24年度(予定)

費用便益比：8.93

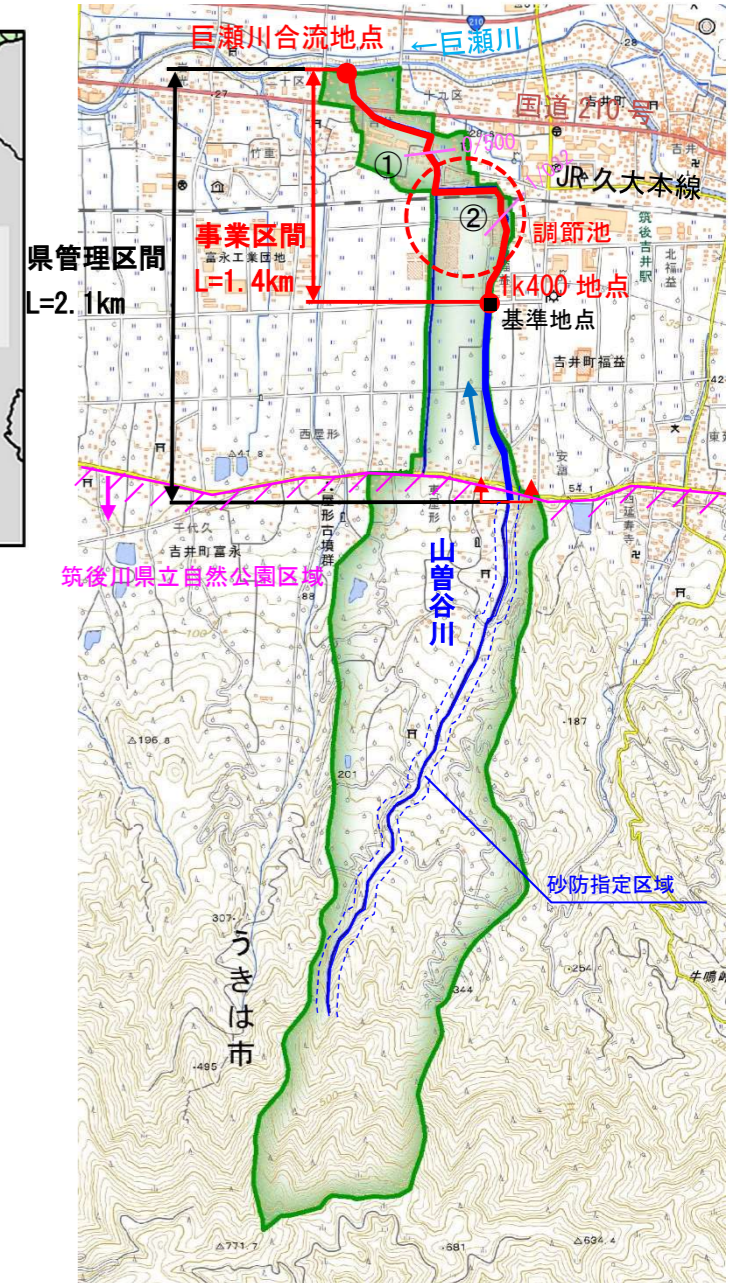
4. その他特記事項

要望書：うきは市長及び地元住民からの要望書が提出されている。(R4.1)

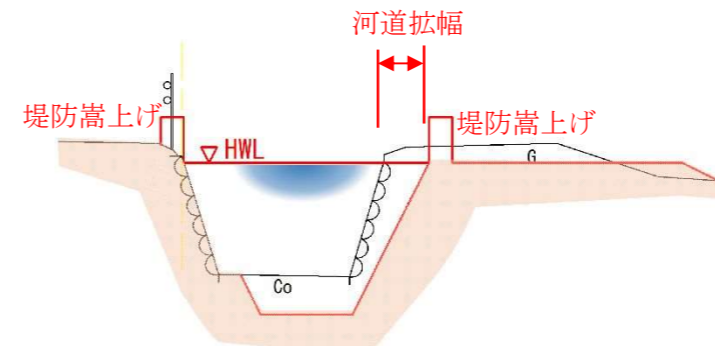
【位置図】



【事業概要図】



【計画標準横断面図】



【現況写真】

